



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【男子】第3節 第2日

開催日時 7月8日(日) 会場 法政大学 多摩キャンパス ホッケー場 天候 くもり

【全試合結果】

第1試合 10:00	山梨学院大学	4	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	1	Selrio島根
第2試合 11:40	立命館大学	7	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$	1	東京農業大学
第3試合 13:20	小矢部RED OX	3	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	2	法政大学
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

第3試合

小矢部RED OX 3 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 8
2 勝 2 分 2 敗

勝点 3
1 勝 0 分 5 敗

<得点>

⋮

<戦評>

第2試合に続く過ごしやすいコンディションの中、第3試合、小矢部RED OX対法政大学の試合が小矢部RED OXのセンターパスにより試合が開始された。前半5分、13分小矢部RED OXがPCを取るも、決められない。試合動いたのは26分、小矢部RED OX10番早田が先制点を決めた。法政大学も26分、30分とPCを取るが決めることが出来ず、またゴール前まで何度も攻め込む場面が見られたが得点にはつながらない。前半34分、再び小矢部RED OX4番太田がPCでフリックシュートを決め、2-0と小矢部RED OXがリードし前半が終了した。後半40分、小矢部RED OX12番高橋が、サークル内での法政16番義浦のトラップミスを取り、シュートを決め3得点目を取る。1点を取りたい法政大学は後半68分、4番小林がリバウンドからボールを押し込み1点目を決める。波にのった4番小林は後半69分、小矢部のDF陣のパスカットからフリーでサークル内に入り込み、強烈なシュートを決めた。最後の最後まで追い上げを見せた法政大学だったが、タイムアップとなり3-2で小矢部RED OXが勝利した。

テクニカルオフィサー	鯨井 暢	アンパイア	相馬 智恵子
ジャッジ	平沢 美由紀		成田 健一



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【男子】 第3節 第6日

開催日時 7月8日(日) 会場 越前町営朝日総合運動場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合	名古屋フラーテルホッケーチーム	7	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 5 - 1 \end{pmatrix}$	1	天理大学ベアーズ
第2試合	岐阜朝日クラブ	6	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$	2	診療印刷
第3試合	ALDER飯能	1	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	3	福井クラブ
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 7 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 5-1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 18 勝点 12
6 勝 0 分 0 敗 4 勝 0 分 2 敗

<得点>

名古屋 : 9分長澤、17分河内、36分粥川、38分河内、51分坪内、52分小野、59分福代
天理大学 : 53分清水

<戦評>

現時点での1位・2位の対戦となった。開始9分、名古屋フラーテルはPCでNo.14長澤がプッシュストロークでゴール中央上段に決める。さらに17分、No.17橋のシュートをキーパーがはじき返し、そのボールをNo.6河内が決めてゲームの主導権を握った。後半、開始早々の36分、天理ディフェンスの緩慢なプレーでPCとなり、No.14長澤のシュートをキーパーがはじき、右側にいたNo.3粥川が決めた。直後の38分、No.8塩川がドリブルで持ち込み、No.6河内にきれいに合わせ4点目となった。以後、51分、52分、59分、とたて続けにゴールを決める。一方天理はパスミスが目立ち動きに精細をかけた。ようやく、後半53分No.13清水がドリブルでサークルを突破しヒットシュートし、一矢を報いるにとどまった。結果的に、名古屋フラーテルの圧勝となった。

テクニカルオフィサー	松宮 弘	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	国兼 実		近藤 聡史

第2試合

岐阜朝日クラブ 6 $\begin{pmatrix} 2-1 \\ 4-1 \end{pmatrix}$ 2 診療印刷

勝点 10 勝点 0
3 勝 1 分 2 敗 0 勝 0 分 6 敗

<得点>

岐阜朝日 : 5分百成、7分伊藤、42分長谷、44分横山、46分佐橋、63分百成
診療印刷 : 25分東、53分大谷

<戦評>

試合開始直後から岐阜朝日クラブが優勢に試合を進め2点をあげる。対する診療印刷も25分にカウンターからの攻撃で、キーパーのはじいたボールを押し込み1点を返す。その後も岐阜朝日クラブが相手陣内に攻め込むが、得点することが出来ず、前半を終了する。後半は一進一退の状態が続くが、岐阜朝日クラブは42分にゴール前の混戦からNo.17長谷が押し込み3点目をあげる。その後、44分、46分にも追加点をあげ、試合の主導権を握った。診療印刷も53分PCからNo.5大谷がゴールを決めるが、反撃もここまで。逆に岐阜朝日クラブは、63分にPCからNo.2百成がダメ押しの追加点をあげ勝利した。

テクニカルオフィサー	国兼 実	アンパイア	小原 直也
ジャッジ	松村 満		元宗 宏寿

第3試合

ALDER飯能 1 $\begin{pmatrix} 0-2 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 3 福井クラブ

勝点 12
4 勝 0 分 2 敗

勝点 8
2 勝 2 分 2 敗

<得点>

ALDER飯能 : 67分北里

福井クラブ : 9分為国、15分渡辺、50分為国

<戦評>

試合開始早々より、福井クラブは右サイドから積極的に攻めた。9分に、PCでNo.2為国がゴール左上にプッシュアップを決め、15分にもPCでキーパーがはじいたボールをNo.27渡辺が決めて、優位に試合を進めた。ALDER飯能は、個人技で応酬し、32分PCを得たが、キーパーのナイスセーブに阻まれた。

後半に入り、ALDER飯能が反撃に転じ、39分、41分とPCを得るが得点に結びつかなかった。対して、福井クラブは50分にまたもPCよりNo.2為国がプッシュアップで決め引き離した。67分、ようやくPCでALDER飯能のNo.11北里が、プッシュシュートで1点を返したが、そのまま試合終了となった。この試合は、会場につめかけた地元応援団の声援が福井クラブを後押ししたようだ。

テクニカルオフィサー	松宮 弘	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	松村 満		木下 英貴